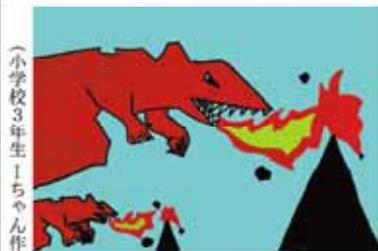


里親なら

「里親月間」に寄せて

奈良県こども家庭局
局長 高木 三起子

里親会の皆様には、日頃より里子の養育と監護に大変熱意を持って取り組んでいただいております。活動の活性化に向けて、ことに、心より敬意を表します。また、県において平成19年度から取り組んでおります「里親推進事業」の実施につきましても、ご尽力・ご協力を



(小学校3年生1ちゃん作)

いただいたいておりますことに厚くお礼申し上げます。昨今、要保護児童の状況は、憂うべき状況にあります。平成19年度、全国の児童相談所が受け付けた児童虐待相談の総数は、4万618件となり、はじめて4万件を超え、過去最高を記録しています。また、本年6月、厚生労働省より「子ども虐待による死亡事例等の検証結果報告」が公表されましたが、それによると、平成15年7月から平成18年12月の3年半の間に、児童虐待により命を落とした児童は192名となつております。毎年50名から60名の幼い児童が命を奪われているという状況です。

平成19年度に県こども家庭相談センターが受け付けた児童虐待相談件数は682件と過去最多を更新し、また、今年3月に乳児が両親からの虐待で死亡するという痛ましい事件が発生しています。こうした要保護児童に対しては、非常に細やかなケアが求められますが、県内の児童養護施設は恒常的に入所率が高く、そこで生活する被虐待児童の割合も年々高まっています。このような状況から、県では、要保護児童への対策の充実を喫緊の課題と位置づけ、児童虐待防止対策の強化、社会的養護体制の充実を施策の重点項目に掲げて取り組んでいるところです。

○平成19年3月	
・里親登録数	89組
・委託児童数	19人
・委託率	4.2%
○平成20年9月現在	
・里親登録数	104組
・委託児童数	30人
・委託率	7.3%

特に、社会的養護の推進にあたっては、家庭的、家族的ケアの必要性から、施設のケアの小規模化と併せて、子どもが特定の大人との愛着形成を図る

(題字)
興福寺・多川俊映賞首



(主な内容)

- ・里親月間に寄せて(1)
- ・奈良県里親会の活動(2)
- ・里親セミナー参加者募集(3)
- ・講演会・研修会
参加レポート(4)
- ・子どもで広場(6)
- ・平成20年度 近畿地区
里親研修会(7)
- ・随想・玉串(7)
- ・子育てのフアンポイント(8)

里親の種類 あなたも、里親になっていただけませんか？

- 養育里親**
 - ・養育里親…要保護児童を養育する里親
 - ・短期里親…1年以内の短期間、養育する里親
 (週末・季節里親…施設入所児童を対象とした里親)
- 養子里親**
 - ・特別養子縁組…原則6歳未満の子どもが対象で里子との年齢差が概ね40歳以内のご夫婦
 - ・普通養子縁組
- 専門里親**…被虐待児等を専門的な知識と技術で支援する里親
- 親族里親**…里子の3親等内の親族で所定の要件に該当する里親

ことができる里親の推進が欠かせないものと考えています。奈良県の里親委託の状況としては、里親会の皆様方の積極的な活動の結果、里親登録数、里親委託数ともに着実に増加してきています。

今後のとも、子どもたちの笑顔あふれる健やかな成長のため、皆様方の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

第4号 2008年10月1日
発行 奈良県里親会
住所 奈良市紀寺町833
奈良県中央こども家庭相談センター内
TEL 0742-26-3788
FAX 0742-26-5651
奈良県里親会

この会報は、社会福祉法人奈良県共同募金の配分を受けて作成されています。

奈良県里親会の活動

総 会 — 4 月

4月27日に、平成20年度・奈良県里親会総会が児童家庭支援センターで開かれ、県から子ども家庭課長、子ども家庭相談センター(中央・高田)所長、職員の方々、里親会会員など多数参加しました。

第1回里親サロン — 4 月

平成20年度・第1回里親サロンが総会に引き続き開催され、「ライフストーリーワークについて」と題して、家庭養護促進協会神戸事務所主任ケースワーカーの米澤普子(ひろこ)先生に講演をいただきました。

アメリカやイギリスで里親制度や養子制度についての研修、調査に基づき、平成6年には、里親養子、施設などの児童福祉の保護のもとにある子どもへの生い立ちの記録、「ライフストーリーブック

また、総会では平成19年度事業報告・会計報告と平成20年度事業計画・収支予算について承認されました。

平成21年度に近畿地区里親研修会が奈良県で開催されますので、奈良県里親会の役員改選については、ほとんどの役員が昨年度に引き続いてさせていただく事になりました。

ク」作りが提唱され、日本に紹介されました。

ライフストーリーブックとは、絵や言葉、写真や手紙、出来事で作る子どもの生い立ちの記録で信頼できる大人に手伝って作っていくものです。

ライフストーリーブックを作ることを含め、子ども達が幼い頃のことを理解する手助けをする、その作業に関わることをライフストーリーワークといいます。

○なぜライフストーリーワークが必要か
子ども時代を生みの親

た。さつそく、準備委員会を立ち上げ、近畿地区里親研修会の内容を検討していきます。

情報交換会(おしゃべり広場)は、毎月第2木曜日、里親サロンは、年3回、春、夏、冬に開催する予定です。

毎年人気のある里親会員交流会や広報誌「里親なら」の発行についても承認されました。



と一緒で過ごしてきた子ども達は、自分の過去を色々な方法で手に入れることができます。しかし、親から離れて暮らす子ども達はそういうわけにはいかず、その子どもたちの過去はしばしば失われたり、忘れ去られたりします。ライフストーリーワークを通して、子どもたちが幼い頃のことを理解する手助けをすることが、子ども達が現在や未来を前向きに受け入れ、生きていく上で最良の方法であるということが理解されてきました。

米澤先生は実際に自身関わった子ども達の例

里親情報交換会を開催(おしゃべり広場)

昨年度から開催された「情報交換会」が好評により、今年度も社会福祉法人天理をお借りし、毎月第2木曜日の午前中に開催しています。

里親とその家族が互いに交流し、情報交換を目的として、児童家庭支援センターでんだりや子ども家庭相談センターの職員を交え、交流を図っています。

をあげて、自分の生い立ちや両親のことを聞いたり、調べたりすることによって、今の自分を受け入れ、また、前向きに歩めるようになった事例等を話してくださいました。

実際には子ども達に伝えるには厳しすぎる現実もあります。嘘の情報をつたえることなく、出来るだけ肯定的な面を強調することなど、ライフストーリーワークに取り組むさいに必要な点もお教

えいただきました。

(里親T)

感想の一部をご紹介します。

○私は初めての参加でしたが、皆さんからも気軽に声をかけて頂きました。養育里親さん、養子里親さんの密なお話を聞く事ができてとても良かったです。これからのいろいろなお話を聞かせて貰って勉強したいと思いをしました。

○毎月楽しみにしております。息子にとっても同じ年の子どもたちと遊べるのでとても喜んでいきます。息子よりも1歳年上で、いつもその子を見る度に、来年の今頃は、あんなこともできるんだ、こんなこともできるんだ、思いながら見ていました。家での様子や、養子に迎えるまでの話など



詳しく聞くことができたので本当に良かったです。また、告知のことも今は毎日の生活で精一杯で考えもしていなかったのですが、話が出て、「あ、言わないと...」と思いが出しました。小さいのもう少しわかるようになっていたら、何かのきっかけでタイミングよく話せたらいいなと思っています。

○毎日不安に思うこともあるけれど、みんなと話していると、気分的に楽になりました。

○今回初めて参加させていただきました。和やかな雰囲気でお話が聞ける場だったので、とても良かったです。また、ささいな疑問、質問にも、嫌な顔をせずに対応してくださったことがとても嬉しく、いろいろな勉強させて頂きました。ありがとうございました。

これからも、里親同士が気軽に話せる場でありたいと思います。みなさんどうぞお越しください。

第2回里親サロン
夏の親子会
— 8月

第2回里親サロン・夏の親子会の感想

☆マジックショーたのしかった♡



でも、なんとなく幼稚やったなあ。
タネとかわかったし
けどやっぱオモローでした。



☆きょう、マジックを見せてもらって、
おもしろかったです。わたしは、男の
子が寝ている、イスをはずした時、宙
に浮いたのがとても驚きでした。

☆ポテトチップスにへびがでてきておもしろかった。

☆てじな たのしかった。とくに大きなストローが
よかった。

☆てじながすごかった。

☆マジックショーすごく楽しかったよ。

また行きたいな～。
牛乳パックで亀を作ったのも楽しかったですよ。

☆かめ作りはかなり楽しかった
別のもも作ってみたいな。



7月4日(金)

～里親ボランティア～

3人の里親さんが、一時保護所(中央
子ども家庭相談センター)にデザート
作りに来ていただきました。

(子どもの感想)

今日は、10時ごろから、フルーツポンチを
作りました。とってもおいしかったです。
(保護士…むねまぐれこも上手に作っ
てくれて、いっぱい食べてましたね。)



フルーツポンチを作ったヨ。めつちャ うまがつた!!
スイカのうつつわですごがつた!! 浴衣も着た!!

朝からテストをしていて、下に降りていったら、
皆がスイカフルーツポンチを作っていた。
俺は、サイダーを入れて、おいしかった。
(保護士…よく食べ、よく遊び、体も増えて良かったぞね。)



平成20年8月16日、児
童養護施設『天理養徳院』
の講堂をお借りして、第
2回里親サロン・夏の親
子会を行いました。
今回、児童養護施設と
の初の共催となり、天理
養徳院からも15人の子ど
もが参加しました。とて
も賑やかな親子会となり
ました。
参加者は、子ども33人、
里親14人、スタッフ11人
の合計58人でした。

今回は、ジャスパール瀧
口氏をお招きして、マジ
ックショーを披露してい
ただきました。マジック
ショーは、子どもたちに
もわかりやすい出し物で
トランプの大きさが徐々
に変化するマジックや、
ハンバーガーシヨップの
小さな紙袋から2メート
ルほどのストローがでて
きたり、棒が花になった
りなど、棒から大人ま
で驚きあり、笑いあり、
不思議ありで、あっとい
う間の30分でした。
その後、里母が中心と
なって、牛乳パックを利

用して工作をしました。
工作は、牛乳パックで
亀を作り、カラーペン
で色とりどりの模様を
描きました。どの亀も
個性的で、かわいらし
くできていました。子
どもたちの感想をご紹
介します。
次回は平成20年12月
20日(土)、奈良市生
涯学習センターでジャ
グリングショーを行
います。皆さん、どうぞ
お越しください。お待
ちしております。



◆里親セミナー◆
参加者募集◆

《日時》

平成20年11月16日(日)
13時30分～16時30分

《場所》やまご郡山城ホール
2階会議室

(大和郡山市北郡山町
2113)

このセミナーは、親の
病気や経済苦など様々な
事情により親と生活する
ことが難しくなった子ど
もを、家庭で預かり養育
する里親制度について、
多くの県民の方に知って
いただくとともに、里親

に対する理解と協力を得
ることを目的に、県主催
里親会、大和郡山市共催
で開催します。

今回は、愛知県刈谷児
童相談センターの萬屋所
長にご講演いただきます。
愛知県では、積極的に
新生児の養子縁組と里親
委託に取り組んでおられ
生後1ヶ月未満で新しい
親に巡り合えた赤ちゃん
は昨年までの14年間で1
00人を超えています。
実親が育てることができ
ない赤ちゃんについては、
生まれる前から里親候補
を探し、里親が名前を付
け、退院とともに、自宅

に連れ帰るなどの取組
もされています。
また後半は、多くの
児童たちと、「ありがと
う。ごめんさい」と
言える生活を目指して
おられる、和歌山県の
安武里親に、体験発表
していただきます。

【対象】一般
【参加費】無料
【締切】11月7日迄
【託児】事前申込が必要
【申込先】県中央こど
も家庭相談センター
TEL
0742263788
FAX
0742265651

里親におすすめ

講演会・研修会

参加レポート

☆養親希望者のための

連続講座―6月7、14、21日、大阪市立社会福祉センターで開催―

家庭養護促進協会大阪事務所主催の養親講座に参加しました。3日間の講座を受講して、益々親になる為の覚悟がわいてきました。

それに、とても具体的なお話を聞かせて頂いたので、夫婦で話し合う時間が増えても増えました。何と云っても、元気で全力でぶつかって行くこと、今までの大人中心の生活から、子ども中心の生活に180度変え、頭も心もやわらかくして、全面的に受け入れるようになることが、この2点が全てだと実感しました。

第1に、告知について

ロールプレイでは、様々な局面で子と向き合う設定でしたが、どのパターンも将来にやってくるも

のとはいえ、考えきれていない事ばかりで、実際の場面に

なりません。しかし、告知は決して遅くない方がよく、私たちの中では、小学校1年生位が妥当だと思っています。

第2に、親子関係について

どの家庭でもそうであると思いますが、親子関係を築いていくというのは本当に難しい事です。子どもが授かった時に、初めて父母になる気持ち

しかし、里親はその期間を経ることなくいきなり、家庭へひきとり、親となり、子となる。子としてみれば、今まで以上に不安で仕方がないに違

いない。その気持ち、大人を試してみたり、人間の欲求として一番大切な「食」に対する行動に変化していくのだと思えました。想像をはるかに超えた偏食と過食はさすがに驚きましたが、ここで負けてはならない、つまり、必要以上の満ち足りた量と、子どもの欲求にどこまでもつきあっていること、お互いに受け入れあえるのだという事実があるということ。現在、幼小の子どもと接する時間が毎週あります。やる気を起こさせるよう、ほめてほめて、また、色々な子どもの話を聞く側に徹しています。

☆思春期の子ども

と親の育ち―6月21日、児童家庭支援センター―

児童家庭支援センターでんり主催の専門援助講座が開催され、天理大学人間学部教授の千原雅代先生の「思春期の子どもと親の育ち」と題した講演がありました。

表現方法は時に応じて異なりますが、「あなたの事が大好きで大切である」と示せば、答えは必ず返ってきます。子どもは子どもなりに神経を使い生

☆法医学から見た

児童虐待―6月21日、ならまちセンターで開催―

奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」主催の専門講座が開催され、「法医学から見た児童虐待」と題して、医療法人・河野外科医院理事長で、大阪府の監察医、大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員の河野朗久先

きている世の中、私たちの役目は計り知れないほど大きいと思います。親としても、育てる以上に育ててもらっていると思うので、これからの互い

生が講演されました。

これまでの体験から、子どもの怪我が虐待によるものかどうかを法医学的診断技術に基づき客観的に判断する必要性や、看護師に期待される視点等のお話しでした。



の成長が楽しみです。不安と迷いはつきものですが、自ら望んだ子育てを私の明るさを持って楽しくしていきたいと思っています。(里親D)

児童福祉、教育関係

一般の方がたくさん参加され里親会からも4名の参加がありました。

講師の千原先生は専門の教育学、臨床心理学をもとに多方面でカウンセリングをされており、今回はその経験と実例を交え、思春期に至るまでの乳児期から学童期まで過程を追って分析され、その過程が思春期の時期に

大きく影響することなどを専門的に解説されました。

また、「思春期の子どもと親の役割」や、「子離れ」という仕事、「思春期の子ども」の問題行動について「など、なかなかつかみにくい子ども側の心理についても講演され、専門的な知見を学ぶことが出来、大変参考になりました。

中でも印象深かった

ことは「思春期は人生の中で最も心の深いところが動く時期」というお話でした。私自身子育てをしながら体験してきたことと講演の内容を思い重ね、そういうことだったのかなあと、思い返すことが出来ました。(里親M)



☆子育てカレッジ

— 7月21日、大阪樟蔭女子大学 岡屋キャンパスで開催 —

長谷川義史先生の講義を受けました。今回のこの講義は、父親が子ども達に本を読む楽しさ、子ども達に本を好きになってももらえるような読み聞かせ方の工夫を、アドバイスしてくださるお話でした。講座には親子づれのご家族もたくさん参加されていて、まず父親は、母親のように真面目に、お話をそのまま読んで聞かせるのではなく、ストーリーを個々の家庭で変

えてみたり、家庭ならではオリジナルストーリーを、おもしろおかしく話してあげると子ども達は目を丸くして喜んで聞くのだと！

先生が面白い声を出したり、(さるかにがっせん)のお話の母かにかたきうち場面のスケッチのウンチを、道頓堀のくだおれ人形にしてみたり、足が速いとグリコの人形が、悪さのおサルを追いかけたりと、ありえないストーリーに変えてイラストもそえてデモンストレーションされて会場にきていた子ども達から、関西の子どもらしく

(そんなーあほなー！)とナイスな突っ込みがあり、会場がわき上がり大変面白かったです。長谷川先生の絵本は、内容もおもしろくて、読み慣れない人にも、愉快に読む事ができそうでしたので、さっそく一冊帰りに購入しました。この日は「やまださんちの日は「やまださんちのてんきよほう」という絵本をgetしまして、この日の夜に主人がさっそく、未来の私達の子どもに読んであげるとー私に練習に読んで聞かせてくれました。読み慣れていないので、ぎこちなかったですが、とても、読

み手も聞き手も発見の多い絵本でしたので、二人とも愉快で楽しい気持ちになりました。講演会から数日してから、我が家に5才、3才の姪っ子が子ども達だけで8日間お泊まりにやってきました。昼間は私が公園やプールで遊び、夜は疲れて寝てくれると思っていたら興奮している子ども達は、なかなか寝てくれません。そこで、主人の出番！でいよいよ実戦をする機会がやってきましたので、ほとんど毎晩子ども達に読み聞かせをしてもらって5才の姪は、「やまださんち

の「てんきよほう」に絵本の隅っこに泥棒さんがちらほら登場するのを見つけては大喜びで、3才の姪は、おっちゃんの前白い声や顔にきやっきやっつと大喜びでした。そこでおっちゃん(主人)は味をしめ、「パンやのろくちゃん」「さるかにがっせん」もさらに購入しました。もっか読み聞かせの練習中です。いつか我が家に子どもがやってくるので、パパが愉快によんでくれそうです。

今回の講義に参加して本当に良かったですし、特に小さい子どもはママの「てんきよほう」に絵本の隅っこに泥棒さんがちらほら登場するのを見つけては大喜びで、3才の姪は、おっちゃんの前白い声や顔にきやっきやっつと大喜びでした。そこでおっちゃん(主人)は味をしめ、「パンやのろくちゃん」「さるかにがっせん」もさらに購入しました。もっか読み聞かせの練習中です。いつか我が家に子どもがやってくるので、パパが愉快によんでくれそうです。

☆ケータイ指導者セミナーに参加して

— 8月22日、奈良市の春日野荘で開催 —

まず「ケータイ・インターネットに潜む危険性」という題で講義がありました。その内容の一部を紹介いたします。

親は、主に連絡手段として子どもに携帯電話を与えますが、子どもはメール、仲間作り、音楽を楽しむといった情報、コ

ミニケーシジョンツールとして携帯を欲しがるのが普通で、電話はおまけに過ぎない。そして子どもにとつて魅力的で便利なこの機能は、実は犯罪やいじめなどに利用されることが多い。親の思い至らないところで子どもが大きな被害を受けることがあるとあります。

こういった危険から子どもを守る為には、携帯会社のフィルタリングを利用するとともに、親や

教師といった周囲の大人が子どもたちの様子や携帯に関心を持つて、何かあればその都度対処する「人間フィルタリング」がとても大切です。

続いて「子供の発達と地域の教育力」という題で、茨城大学の長谷川幸介先生の講演がありました。先生自身が地域の中で「近所のおじさん」として子育てにかかわっていることを軽妙な語り口調で楽しくお話ししてく



ださいました。

どちのお話からも、大人が子どもを取り巻く状況や子ども自身に関心を持って、子育てに積極的に参加していくことの

大切さを教えられました。私たち大人ひとりひとりが、親であったり、近所のおじさん、おばさんであったり、職業を通してであったり、いろいろな立場で子どもと関わるのが次代を担う子どもたちを育てていくことになるのだと思います。そういう意味で里親という役割も、とても大切であるとあらためて感じました。(里親X)



絵・伊トリーコ

子育てだて広場

「乳幼児期の里子について」

和歌山県里親会 N・U

現在、我が家は主人、小学3年生の男の子、3歳の女の子、犬2匹で暮らしています。里親になった動機は、主人が養育家庭で育った里子のテレビ番組を見ていて、自分たちも子育てをしてみたいと言ひ、すぐに児童相談所に登録をしました。

それから半年ほど経ち、今の小学3年生のAが、我が家の一員となりました。Aとの初めての面会の日、主人と二人、ワクワク、ドキドキしながら乳児院の面会室で待つていたら、ヨチヨチと歩いてきた姿が、今でも目に焼きついています。

1歳9カ月でした。次の日から毎日、面会、外出、外泊を1カ月続けました。Aはいつも無表情で、言葉の発達にも遅れがありました。初めての外出、その夜に高熱を出し、休日救急センターに走り、不安な一夜を過ごし、体力と根気のいる毎日が始まりました。

当初は、夜なかなか寝てくれず、抱っこして寝たかなと思つて、布団に寝かせると、また目が覚める。時には主人が車に乗せて走つたり、おんぶをして近所のまわりを歩

心に残る言葉

この言葉は、本来あまり良い意味には用いられていないようです。しかし私は、この言葉を次のように解釈して、座右の銘としています。

人生、失敗するのは誰にでもあること。しかし、その失敗というのでも貴重な体験なのだから、「そこから何かをつかみ取る」という気概を持つべきです。そしてそれを、その後の人生に活かしていきたいと思います。

(I・M)

いたりしました。また、お風呂に入るのを恐がり、7月の暑い時期でしたので、タライがお風呂代わりとなり、3カ月続き、やつと湯舟に入る事が出来ました。

毎晩絵本の読み聞かせをしていましたが、そのうち「もつと読んで」と言うようになり、小学3年になった今も読み聞かせを続けていますが、本人もすっかり本好きになり、週に一度は図書館に行き、本を借りてきて読んでいます。

無表情だった子が、近所の子ども達に遊んでもらったり、お母さん方に声をかけて頂き、家におじゃまさせて頂いたり、私達の両親より毎日愛情をかけてもらった事などで、あつとという間に表情豊かな子どもに育つてきました。

周りの方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。保育所の3年間、参観日、運動会、生活発表会など、諸々の行事を見るたび、子どもの成長をうれしく思います。

里親同志の悩みのひとつ、真実告知は大きな壁と思っていました。私達

夫婦は、なるべく機会があれば早いうちに、と考えていました。保育所年長のある秋の事でした。この日に話そうと決め、Aと二人向き合つて話しました。この子はどんな

思いをするのだろうか、可哀相に思い、内心ドキドキしていました。私は「あなたはお腹の中から生まれきたのじゃないのよ。あなたを生んでくれたママは他にいます。わいかったからうちに来たの」と言つて抱きしめました。Aは「ふうんと

言う返事だけで別に気にしている様子もなく、本当にわかつてくれたのか

少し心配でしたが、私もこれ以上何も話す事もなく、何カ月か過ぎた頃、僕は、ママのお腹の中から生まれてきたんちがうんやな」と確認するかのよう聞いてきました。

Aを力いっぱい抱きしめ「ママは、あなたの事が世界で一番大好きだから」と言つて「僕もママ大好き」と言つてニコニコして外に遊びに行きました。私が思つていたより、真実告知はスムーズに終えたと思ひます。

私の母の末の妹は、生まれて間もなく家の事情で里子に出されましたが、姉妹仲良く、時々会つて楽しい時間を過ごして

赤い羽根共同募金

10月1日▶12月31日

昭和22年から続くこの運動も今年で62回目。共同募金は、寄付した方々の地域で生かされる寄付金です。

少子・高齢社会を迎え、老後の生活や育児に悩む家庭への支援、障がい者の自立の支援、防災、防犯への取り組み等、地域で「安心できるまちづくり」を進める活動（地域福祉活動）を財政面で応援します。

（社会福祉法人・奈良県共同募金会）

TEL 0744-29-0173

FAX 0744-29-0174

(<http://www.nara-akihane.com/>)

オレンジリボンキャンペーン ～子ども虐待防止キャンペーン～ 講演会・シンポジウム

- と き：平成20年11月30日(日) 13:30~16:30
- と ころ：県権原文化会館（権原市）
- 講 演：ジェフ・バーグランド氏
- テーマ：「子育ての応援」 ■参加費：無料 ■託 児：あり
- 主 催：奈良県、奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」
- 問合せ：県子ども家庭課 0742-27-8605 / 「きずな」0744-42-2831

※パネリストとして現在、養育中の里親さんも参加されます。
申込方法等、詳細は県ホームページ(www.pref.nara.jp/kodomo/)をご覧ください。

平成20年度 近畿地区里親研修会

平成20年7月12日、和歌山ビッグ愛にて、近畿地区里親研修会が開催されました。2府4県4都市の里親及び関係者が約200人参加し、県からは、里親会会員が13人とこども相談センターの職員らが13人、計26人が参加しました。

午前中に4つの分科会が行われ、第1分科会「乳幼児期の里子について」では、乳幼児期の里子が多くの愛情を受けて生活面や情緒面で成長している様子や、気になったことなどの体験談を通して、子育てを考えていくという内容であり、第2分科会「小学生から思春期

を迎えた里子について」では、里子たちとの生活についての体験を通じて、里親としての悩みや思春期を乗りこえるための親子の「絆」や、多くの人の関わりの大切さについて考えていくという内容でした。

第3分科会「里子の自立に向けた支援について」では、里子の自立に向けての様々な取組を開き、家族とは何なのかを教えることが大事だと考えているという内容であり、第4分科会「里子と施設、関係機関との連携について」では、「長年、児童を養育してきた里親が、里子や施設、関係機

関とどのように関わってきたか、今後の連携について模索しましょう、という内容でした。

午後からは、映画鑑賞『最後の言葉』(The Last Word)でした。3歳の時に、里親宅に引きとられた主人公は、小学生の時に里父を亡くしました。歌手になることが里母との夢で、1000回路上ライブをすることを約束しました。

その途中主人公が高校生の時、里母は亡くなりましたが、里母との約束を果たそうとライブを続けていると、耳を傾けてくれる人が増え、「デビューする」となりました。この映画を鑑賞して、里母が娘を愛する気持ちや、里子が母親のことを思いながら、夢を諦めず

に努力する姿に深く感銘を受けました。来年の夏には、アニメーション映画になる予定です。機会があれば、ご覧になればたら良いと思います。

来年度の近畿地区里親研修会は、6月27日(土)奈良県で行われます。皆さん、どうぞご協力ご参加くださいますようお願いいたします。



里親会活動にご協力をお願いいたします

親の病気や様々な事情から、家庭で生活できなくなった子どもたちを里親家庭に預かって育てるのが、私たち里親です。

奈良県里親会は、奈良県で登録している里親で構成されています。里子・里親の交流や養育研修、広報誌の発行などを行っています。

運営は、会員からの会費と共同募金会等の補助金によってまかなわれていますが、資金的に大変厳しい状況にあります。

そこで、多くの方々の賛同を得て、会の活動の活性化を図ることができればと考え、賛助会員を募ることになりました。

里親会の目的に賛同し、応援してくださる方を「賛助会員」として、広く募集しています。是非ご協力をお願いします。

○年会費 ひと口(1,000円)

*お一人、何口でも歓迎です！
よろしくをお願いします。*

お問い合わせ先

〒630-8306

奈良市紀寺町833

奈良県中央こども

家庭相談センター内

奈良県里親会事務局

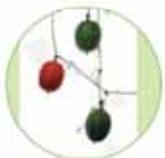
TEL 0742-26-3788



随想

玉章
たまざさ

人生の恩返し



初秋の高野山へ行き、阿息観を体感する宿坊に泊まりました。要するに冥想をするのです。いきなり坐禅をして目をつむりますが、自分だけでなく、どうも全体が雑然としているのです。正座をする人、半跏坐をする人、又、それに尻当てをする人、尻当てを探し回る人、後方や側面では椅子に座る人、遅

れて参加する人など、様々なスタイルで参禅します。ほとんどが、一見の客なので、どうも心構えから、準備から、本来の冥想とは思えません。本堂の内陣では坊さんが、やはり冥想しています。阿息観をしているわけです。

朝な夕なに、一泊して冥想したからと云って、格別な収穫を得ることは、期待出来ません。朝のお勤めや読経も含めて、「ああ、こんなことをしているのか」と、体験するまでのことでした。

ところが、同行した仲間うちの一人の方が、この冥想の時、永い人生の中で、ご自分がお付き合いをした人、世話になった人の顔を、

一人一人、想い浮かべては、感謝の意を称えたとのことでした。ほぼ全員の方を、想い浮かべたと申しますので、百人くらいに達するものと、思われるのです。この方は熟年ですが、小さな会社の社長さんで、私はお付き合いをして、三十年になりました。あの雑然とした中、一心に祈っていたやに見えたのは、その為でした。この方は、高野山に行く前から、心構えを整えておられたことは、私も解っておりました。

こんな方と、お付き合いをしていますと、実に清々しい思いがして来るものです。

(葛西記)



子育てのワンポイント

ちよつとちよつと (4)

感染性胃腸炎について

ノロウイルスやロタウイルスによる乳幼児の感染性胃腸炎が注目されています。発症すると、嘔吐や下痢を伴うため、乳幼児では脱水症状を起こして重症化することがあるので注意が必要です。

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌、寄生虫など、様々

な病原体による感染症です。例年、11月上旬から急増し、12月をピークに一旦減少しますが、1～3月に再度増加し徐々に減少していきます。

冬の流行はノロウイルス、春の流行はロタウイルスが主な病原体となっています。

	ノロウイルス	ロタウイルス
感染経路	<p>◆人から人への感染 吐物や便の中に含まれるウイルスが手、あるいは手で触れたものを介して口に入り感染する。吐物の飛沫から感染する場合もある。</p> <p>◆汚染された水、食品からの感染 食品を介した感染で最も多いのは貝類による感染で、ウイルスに感染した二枚貝を生、あるいは加熱が不完全なまま食べることにより感染する。また、感染した人が調理した際に、食品が汚染され、その食品を摂取した場合に感染する場合もある。</p>	
潜伏期間	1～2日	2日
症 状	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛	嘔吐、下痢(白色便)、発熱
治 療	ウイルスによる胃腸炎は、対症療法となる。脱水症状に気をつけて、早めに医療機関を受診する。	
二次感染	患者が回復しても、3～7日間は、便の中にウイルスを排出するので要注意。	患者が回復しても、約3日程度、便の中にウイルスを排出するので要注意。
予防方法	<p>◆手洗いがいを励行しましょう 排便後、患者のケアの後、調理前、食事前、外出から帰宅したときなど</p> <p>◆吐物などを適切に処理しましょう ビニール手袋などを使用して処理し、汚染された衣類や場所は塩素系消毒薬(漂白剤)を希釈して消毒する</p> <p>◆食品は十分に加熱しましょう 食品は、中心温度が85℃以上で1分以上加熱する</p> <p>◆タオルは患者との共用は避けましょう</p> <p>◆症状のある方は、食品の調理をできるだけ控えましょう</p>	

奈良県里親会ホームページ

<http://narasatooya.jp/>

<携帯ホームページ>

<http://narasatooya.jp/keitai.html>

◇奈良県の感染症流行状況は下記でご確認ください。

奈良県感染症情報センター (<http://www.ihe.pref.nara.jp/kansen.html>)

手洗い、うがいを基本に、感染予防に努めましょう!!

(奈良県中央子ども家庭相談センター 保健師 大井 久美子)

編集後記 今月号
には、里親に理解の深い、
子ども家庭局の高木局長
に草稿を戴き、関係者一同、
有り難く思っています。
この秋、奈良県芸術祭が、
真盛りです。私も所属の
同人会で、朗読イベントに
参加します。諸分野の
百数十に及ぶイベントが
開催されますので、どなた
も一度、芸術に接して
みては。
(J・K記)

◆第3回里親サロン
(冬の親子会)
ジャグリングショー
12月20日(土)13時～16時
奈良市生涯学習センター
権原文化会館大ホール
11月30日(日)13時30分～
16時30分
◆オレンジリボン
キャンペーン(詳細6頁)
11月16日(日)13時30分～
16時30分やまと郡山城
ホール 2階会議室

◆第1回里親セミナー
てんり
児童家庭支援センター
10時～12時
第2木曜日
広場)毎月・



◆情報交換会
(おしゃべり
広場)毎月・
第2木曜日
10時～12時